

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(株式会社ニュースト)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.9.5変更】

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	□	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	・企業行動規範に人権の尊重を定義しており、全社員に周知している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3							16.1 16.2 16.7	
	□	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	・ハラスメントの扱いは、基本方針を規定するとともに、相談窓口を設置し社員に周知している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8									16.1
	□	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・残業時間の上限規制、5日間の年次有給休暇の一斉・個別付与を行っている。 ・長時間労働を防止すべく、残業時間を把握、監視している。									8.5 8.8								
	□	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	・現在はいないが、今後採用した場合のための調整を行う。			4.4						8.7 8.8	10.2 10.3							
	□	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・各職場の代表者で構成される安全衛生委員会を設置し、毎月全社員対象当番制による安全パトロールを行い労働環境の整備に取り組んでいる。			3						8								
	□	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	・相談窓口の設置、及び社員にメンタルチェックを行っている。			3														
	□	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	・就業規則に育児・介護休業規則を設けている。 ・希望、能力に応じて65歳以上の社員を継続雇用している。					5.1 5.5				8.5	10.2 10.3							
	□	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・外部セミナーに積極的に参加し、新しい知識吸収の機会を設けている。			4	5.5					8	9							
	□	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	・同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。					5.5				8.5	10.2 10.3							
	□	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	・健保の面接指導を利用し、社員の健康維持に取り組んでいるとともに、定期検査の状況を把握し、検査、通院を促している。 ・健康経営優良法人の認定			3						8								
環境	□	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・廃棄物の分別を行い、廃棄物処理業者による適切な処理を行っている。										11.6	12.4		14.1				
	□	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	・国内地域産材、海外産材の合法木材の供給を通じ、CO2固定量を把握している。 ・毎月の電気使用量を把握し省エネに取り組んでいる。							7.3					13					
	□	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	・工場内照明のLED化、工場内暖房をジェットヒーター（灯油）からエアコン（電気）に変更、工場内仕切りの設置など省エネ・温暖化対策を推進している。							7.2 7.3				12.4	13.3					
	□	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	・法令で規制されている有害化学物質を把握し、リスクアセスメントを行い適切な使用に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4					

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
環境	□	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	・FSCのCOC認証を取得し、持続可能な森林管理に貢献しています。						6.6								15			
	□	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・廃棄物の分別を適切に行っている。 ・紙資源、金属のリサイクルを行っている。									12.5		14.1						
	□	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	自社の水の使用量を把握し、分析を行い、削減に努めている。						6.4 6.6											
	□	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	・ISO14001を取得していない			3.9			6	7			12	13.3	14	15				
	□	【環境情報開示】 ・環境の取組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・環境の取組みをHPに掲載している										12.6							
	□	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・工場屋上にて太陽光パネルを設置、関係会社にて運用している。							7.2					13					
	□	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・全国の地域産木材を使用した高断熱サッシを開発、販売している。										12.2	13	14	15				
公正な事業慣行	□	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・企業行動規範に規定し全社員に周知している。															16 16.5		
	□	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・企業行動規範に規定し全社員に周知している。															16		
	□	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・企業行動規範に規定し全社員に周知している。 ・関係会社法務部の知的財産専門の部署協力の元、管理している。								8.2 8.3	9								
	□	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・特定個人情報取扱規程を制定し、個人情報を適切に管理し周知している。															16		
	□	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している。															16		
	□	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・取引先との会話や調査、評価を行う中で、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響への防止、倫理面での適切な対応など認識を共有している。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	□	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本	【予定】「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している。			3						8	9	10						17

※「パートナーシップ構築宣言」の作成・公表方法はこちら。 <https://www.biz-partnership.jp/>

非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																						
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
																										
製品・サービス	□	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・製品・サービスの安全性を確保すべく、定期的に設計会議を行い、製品化につなげている。			3.9											12.4								
	□	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・定期的に品質会議を開催し、製品の品質についてフィードバックを行っている。													9									
	□	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・木材利用、断熱、消音に貢献する製品の開発に取り組んでいる。							6								12	13	14	15				
	□	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・商品開発課を置き取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
社会貢献・地域貢献	□	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・自社の地域への影響を把握し、地域活動に協賛しながら地域との関係を深めている。				4						9		11	12			14	15			17		
	□	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・社員の地域行事や学校への参加を推進している。 ・ベルマークサポーターとして企業登録しベルマークの収集活動に参加し地域の子供たちの活動をサポートしている。				4								11					14	15		17		
	□	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	・長野県産の木材を積極的に利用している										8	9		11	12	13							
組織体制	□	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している	基本	・社是“優しく強く”の元、毎年度の会社方針を明文化している。 ・年度方針は、下部組織の方針・実行計画に展開され全社員に周知されている。										8	9										17	
	□	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・全社員に対しメールによる通達や朝礼、各種会議で法令順守の重要性を発信している。																					16	
	□	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・企業行動指針のもと、管理部が中心となった組織体制を取っている。																					16	
	□	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	・経営者、各拠点責任者が直接、ステークホルダーと対話し具体的な対応に努めている。																					16	17
	□	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・管理すべきリスクを特定し評価を行い、適切にマネジメントしている。																						16
	□	【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・法令、規格、基準を順守し責任を持った対応に取り組んでいる。																						16
	□	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・BCPを策定している。 ・定期的に防災訓練を実施している。													9		11			13 13.1			16	
	□	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・検討・対策を行っている。													8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定